



子供が学びをつくる 外国語

課題設定	外国語科の目指す「自らの学びをメタ認知」しながら学び続ける子供
	<p>具体的な場面、状況において、コミュニケーションを行う目的をもち、言語活動を通して目指す姿の具体を整理し、主体的に学習を進めようとする。</p> <p>(1) 単元のゴールを意識し、コミュニケーションを行う目的をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの具体的な場面や状況をイメージできる単元のゴールにつながる動画を視聴しながら、学習の必要感をもつ。 自分のことや日常生活に関わって、伝え合う相手や内容のイメージをもつ。 <p>(2) 伝え合う際の実践的姿を具体の形に整理し、主体的に学習に取り組もうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出及び既出の語句、表現などを活用しながら、よりよくやり取りしたり発表したりしている姿をイメージする。 よりよく伝え合う姿を、流暢さ、正確さ、考えの整理、積極性、話し方、非言語的手段等の視点で具体化する。 前単元までの学習の記録（やり取りや発表の動画等）を参照したり既習事項を生かしたりしながら、目指す姿の具体を緩やかに高度化、更新していく。
課題追究	<p>目指す姿の具体に向かうような学習計画を立て、言語活動等の目的や内容に合うペア、グループ、個人、全体などの活動形態を選択して行おうとする。</p> <p>(1) 目指す姿の具体に向かう言語活動等の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝え合うために必要な語句、表現等に十分に慣れ親しもうとする。 目指す姿の具体を意識しながら、友達と情報交換しようとする。 事実や自分の考えなどを整理し、整理した内容を目指す姿の具体を意識しながら発表したり、その様子を見合ったり見返したりしようとする。 <p>(2) 言語活動等の目的や内容に合うペア、グループ、全体交流、個人などの活動形態を選択して、質的・量的に十分な言語活動を行おうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループで動画を視聴して内容について考えたりゲーム等を行ったりしようとする。 グループや全体の中で、集めたい情報について質問したり答えたりしながら明らかにしようとする。 個人で考え整理した内容を、ペアやグループ、全体の前で発表しようとする。
パフォーマンス	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況に応じて、事実や自分の考え等を整理し、既習の語句、表現等から整理した内容に合うものを選択して使い、他者に配慮しながら伝え合う。</p> <p>(1) 事実や自分の考え等を整理し、既習の語句、表現等から整理した内容に合うものを選択して使う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 事実や自分の考え等を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの目的、場面、状況に関連する自分の考えをもつ。 自分の考えを整理したり、単純化したりしながら端的に再構築する。 既習の語句、表現等から整理した内容に合うものを選択して使う。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の Word List や使用している資料、ワークシート等の中から、自分の考えに合うものや近いもの、または教師から個別に教わったものを選択する。 <p>(2) 他者に配慮しながら伝え合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 目指す姿の具体を意識しながら、他者と気持ちよくコミュニケーションを図る。 <ul style="list-style-type: none"> 相手の理解を確かめながら話したり、共感的に受け止める言葉を返しながら聞いたりする。 作成した英語・絵（写真）カードを見せながら話したり、内容に応じた身振り手振り、提示物への指さし等を加えて話したりする。 読み手が理解しやすいよう文字を正しく書き分けたり、綴りや語順を意識しながら簡単な語句や基本的な表現を書き写して使ったりする。 <p>(3) 自分や友達の言語活動を分析的に振り返る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 他者と伝え合う様子を見合ったり、動画で見返したりする。 目指す姿の具体に照らし、成果や課題を実感したり次の目標を設定したりする。 外国語を学習する意味や価値を見いだす。

外国語活動
・外国語

～自己を見つめ、学びの主体者となる子供～

コミュニケーションの目的

- どのような目的をもって？
- どのような語句、表現等で？
- 何について誰と伝え合う？



本単元の到達目標(CAN-DO) 抜粋

単元 We Can! 2 Unit 4 I like my town

自分の町や地域を紹介する場面で、町や地域にある施設・建物やできること、よき、欲しい建物・施設等を伝えるための簡単な語句、基本的な使って話すことができる

流暢さ？正確さ？考えの整理？
積極性？話し方？非言語的手段？

伝え合う際の目指す姿

発表のポイント	どのくらいできたか？		
	A	B	C
他者に内容が通じるように、学習した語句や表現を活用する。	学習した語句や表現で正しく伝えた	つかえることもあるが学習した語句や表現で伝えた	語句や表現もあって間違いが多かった
相手に分かりやすく伝えるために、ジェスチャーやカードへの指さしをするなどをする。	話す内容に合わせて3回以上した	話す内容に合った	合わせた1～2回だった

目指す姿の具体(ルーブリックに整理)

※ 発表のポイントの一部抜粋したものを例示している

学習計画

言語活動

活動形態

選択

コミュニケーションの目的

語句、表現

情報交換

考えを整理

発表



言語活動等の目的や内容に合う、ペア、グループ、列、全体、個人等

事実 考え 整理

考えを整理
既習の語句、
表現を活用

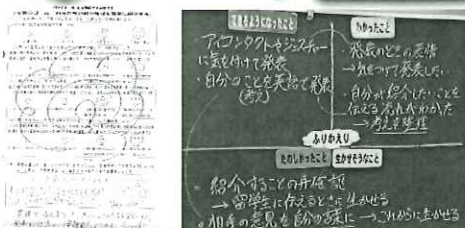


他者に 配慮して 伝え合う



動画

自己を
モニタリング



成果や課題を実感

目指す姿を実現する支援例

【コミュニケーションの目的、場面、状況を明確にできるよう支援する】

- 単元のゴールにつながる言語活動の動画(デジタル教材等)を視聴する場を設け、話題や、使われている語句、表現等を理解可能な範囲で押さえるよう促す。
- どのような目的をもって、どのような語句、表現を使って、何について誰と伝え合うかなどを決め出す場を設ける。
- 子供の思いが学習到達目標(CAN-DO)と関連付けられるよう調整を図ったり、既習の内容との違いを探そう促したりする。

【伝え合う際の目指す姿を具体化できるよう支援する】

- 外国語活動や、外国語科における伝え合う姿を想起しながら、それをよりよくした姿をイメージするよう促したり、教師の演示した伝え合う姿について改善案を出し合う場を設けたりする。
- 子供たちが考えるよりよくやり取りしたり発表したりする姿を、目指す姿の具体としてルーブリックの形に整理する場を設ける。

【目指す姿の具体を意識した学習計画を立てられるよう支援する】

- 目指す姿の具体を意識することを働きかけたり、ルーブリックの形に整理したものを配付してファイルに綴じて参照できるようにしておくよう促したりする。
- 教科書の誌面を参照したり、学習経験を想起したりしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句、表現を活用して必要な情報を集めたり、考えを整理したりしつつ単元の目標を達成できるような活動を考えるよう促す。
- 目的に応じてペア、グループ、全体交流、個人などから活動形態を選択するよう促す。

【言語活動等の目的や内容に合うペア、グループ、個人、全体などの活動形態を選択できるよう支援する】

- 言語活動等の目的や内容に合う活動形態を、学習経験を基に選択するよう促す。

【他者に配慮しながら、事実や自分の考えを既習の語句、表現等を活用して表すことができるよう支援する】

- 事実や自分の考え等を、既習の語句、表現等を活用してまとめられるよう、コミュニケーションの目的等に即したワークシートやカードの様式を用意する。
- 伝え合うために必要な語句、表現等を選択できるよう、言語活動に適当な Word List、参考となる資料、ワークシート等を用意したり、個別の思いや願いに応じた語句、表現等を示したりする。
- 文字の形や大きさ、綴り、語順に注意を払いながら丁寧にカードを作成する場や、目指す姿の具体を意識しながらよりよいコミュニケーションを目指す場を設ける。

【子供が学習の成果や課題を実感し、次もしくはは将来の目標を設定できるよう支援する】

- 成果や課題を客観的にとらえることができるよう、他者と伝え合う様子を見合ったり、タブレット端末で動画に記録したりするよう促す。
- 目指す姿の具体に即した振り返りを行うことができるようなカードを用意する。
- 一連の学習を通してできるようになったこと、わかったこと、楽しさを感じたことや今後に生かせそうなことなどの視点から、振り返り内容を多面的に共有する場を設ける。

外国語科担当：伊藤 光・安彦 有里恵